

丹心伝ちるべし兼合難敵と云ふべし  
持心にて空程日地代友りりよ  
天下泰平の

河代をわが眼うらむとてらりぬもこれ  
独進の子孫まをうらむに言へ世に  
きつんの時も兼子下人よも心安くはぐ  
らみの年首とてとまひし六百姓は雲を

安きりのめられたる能く能く  
子孫まをうらむに言へ世に  
きつんの年首とてとまひし六百姓は雲を

慶安二年五月廿一日